

「サイバーセキュリティセミナーin徳島」を開催 《新たな脅威に負けない！ 生成AI時代のサイバーセキュリティ》

- 総務省四国総合通信局は、令和5年11月21日（火）に「サイバーセキュリティセミナーin徳島」を徳島市で開催（ハイブリッド）し、**四国各県の企業、自治体、商工会議所、銀行、病院、大学、警察、国の機関等から、現地・オンライン計約110名**の参加がありました（このセミナーは「四国サイバーセキュリティネットワーク※」の取組の一環として開催しました）。
※<https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chiiki/shikoku-cybersecuritynet.html>
- セミナーでは、生成AIの利用を見越したサイバー攻撃の現状や実現性のある対策等に関する**講演**や、地域におけるサイバーセキュリティ対策の取組を共有するとともに、地域の企業や個人が講じるべき対策と共助のあり方について考える**パネルディスカッション**を実施し、サイバーセキュリティ対策強化の重要性等について理解を深めていただきました。

■ 講演 1

「身近に忍び寄るサイバー攻撃とその実現性のある対策
～さらなる生成AIによるリスクにも備えて～」

神戸大学大学院 工学研究科教授 **森井 昌克 氏**から、生成AIの利用を見越したサイバー攻撃の実際と現状、今できる実害を被ることのない実現性のある対策等についてご説明いただきました。

■ 講演 2

「サイバー攻撃を巡る最新動向と対策事例」

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)

ナショナルサイバートレーニングセンター長 園田 道夫 氏から、AI技術を悪用したケースを含むサイバー攻撃の最新動向やその対抗策についてお話いただくとともに、対応力の向上に向けた演習についてご紹介いただきました。

■ パネルディスカッション

「サイバーセキュリティの新たな脅威から地域を守るために」

森井教授にモデレーター、園田氏にアドバイザーをお務めいただき、**徳島県警察本部 富田 勲氏、徳島商工会議所 白草 義浩氏、阿波銀行 後藤 直樹氏**をパネリストとしてお迎えして、AIを用いるなど新たなサイバー攻撃の脅威も加わる中で、地域の現状と問題点を踏まえつつ、今後取り組むべき共助のあり方について意見交換を行いました。



＜富田氏＞
徳島県サイバーセキュリティ協議会の取組状況についてご紹介



＜白草氏＞
「サイバーセキュリティお助け隊サービス」についてご紹介



＜後藤氏＞
金融機関におけるサイバーセキュリティの取組をご紹介

* 参加者アンケートより

「生成AIを絡めたサイバーセキュリティに関する最新動向に関する情報を入手できた」

「生成AIやXaaSが使われているのを知ってセキュリティに対する危機感が増した」

「実例に基づく対策説明があり有意義だった」

「中小企業が抱えている悩みや、徳島県のセキュリティに関する取組の現状を知ることができてよかった」



＜会場の様子＞



＜パネルディスカッション＞



＜展示コーナー＞

「実例から学ぶ！サイバーセキュリティ入門」を開催！

- Tokushima Cybersecurity Meetup は、令和5年11月25日（土）に徳島県警察本部サイバー戦略推進課様とサイファー・テック株式会社様から講師をお招きし、「実例から学ぶ！サイバーセキュリティ入門」を開催しました。セキュリティって何？という方からセキュリティ専門家まで幅広く、計 14 名の方にご参加いただきました。
- 徳島県警察本部サイバー戦略推進課様からは、徳島県内でも被害が確認されているサイバー犯罪の手口について、家族や友人にも注意喚起ができるよう、その特徴や対策についてお話しいただきました。サイファー・テック様からは、仮想環境に対してサイバー攻撃を行う様子を実演いただき、セキュリティについての一般的な概念や脅威、対策などを講義いただきました。

開催概要

- 【日時】 令和5年11月25日（土）15:00 ～ 18:00
- 【場所】 サイファー・テック株式会社 徳島オフィス
（〒770-0847 徳島県徳島市幸町 1 丁目 21 番地 K-クレストビル 2F）
- 【対象】 サイバーセキュリティに興味・関心のあるすべての人。経営者を始め、IT 専門家、学生など、幅広い職種やバックグラウンドの方。
- 【主催等】 主催：Tokushima Cybersecurity Meetup
協賛：サイファー・テック株式会社
後援：四国サイバーセキュリティネットワーク

プログラム

講演 ①『広めて防犯！サイバー犯罪の手口』（15:05 ～ 15:30）

講師：森本 直樹 氏（徳島県警察本部 サイバー戦略推進課）

講演 ②『実例から学ぶ！サイバーセキュリティ入門』（13:30 ～ 17:30）

講師：滝沢 朗 氏（サイファー・テック株式会社）



滝沢 氏（サイファー・テック）の講義の様子

アンケート

- 実際に起きてる事例に基づいて話していただけてとても良かったです。
- サイバーセキュリティに興味が無い人や自分事と考えていない人に伝える難しさはとても共感できた。
- 侵入からランサムウェア実行まで一連のデモはなかなかお目にかかれず、豪華な用語解説でした。勉強になりました。
- サイバーセキュリティの勉強会は始めてでした。アカウントを乗っ取られてしまうデモは、大変興味深かくもあり、恐ろしいなと思いました。

「Merry Christmas ! TCM (Tokushima Cybersecurity Meetup) CTF 2023」を開催！

- Tokushima Cybersecurity Meetup は、令和5年12月16日 (土) に、「Merry Christmas ! TCM CTF 2023」を開催しました。Web アプリや業務システムの開発者、学生など、計 21 名の方にご参加いただきました。
- CTF (Capture The Flag) を通して、セキュリティに興味を持っていただくことを目的として開催しました。
- また、CTF に加えて、徳島県警察様から「身近なサイバー犯罪の手口について、その特徴や対策について」というテーマでご講演いただきました。

開催概要

- 【日時】 令和5年12月16日 (土) 13:00 ~ 17:30
- 【場所】 うずコワーク (UZU COWORK)
(〒772-0003 徳島県鳴門市撫養町南浜東浜651番地-2階)
- 【対象】 CTF をやってみたい方、セキュリティに関する知識を身に付けたい方、セキュリティに関する知識をアップデートしたい方、セキュリティに関する課題を相談したい・解決したい方
- 【主催等】 主催：Tokushima Cybersecurity Meetup
後援：株式会社 HIROKA、四国サイバーセキュリティネットワーク、徳島県鳴門市

プログラム

1. 講演『身近なサイバー犯罪の現状とその対策について』 (13:05 ~ 13:35)
講師：佐藤 佳克 氏 (徳島県警察本部 企画・サイバー警察局サイバー戦略推進課)
2. CTF (Capture The Flag) (13:50 ~ 16:15)
3. 交流会 (16:30 ~ 17:30)



アンケート

- サポート詐欺というのは今日初めて知り、フィッシング詐欺なども改めて気をつけないといけないと思いました。
- どんなことをするのも知らなかったですが、CTF は実際にやってみるとすごく楽しかったです。

「サイバーインシデント演習in高知」を開催 《サイバー攻撃からビジネスを守るぜよ！自分ごとで考えるセキュリティ対策》

- 総務省四国総合通信局は、令和6年1月30日（火）に「サイバーインシデント演習in高知」を開催し、企業、自治体、銀行、放送事業者、大学及び国の機関から、経営層やセキュリティ責任者及び情報システム運用担当者など24名の参加がありました。
- 疑似的なセキュリティインシデント発生時の対応手順を体験することにより、組織内の基本方針やルールを考えるなど、サイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめる効果的な対応方法等について理解を深めていただきました。

開催概要

- ・日 時 令和6年1月30日(火) 14時～17時
- ・場 所 高知商工会館 光の間（高知県高知市本町1-6-24）
- ・対 象 中小企業や団体等の経営層、セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方 等

プログラム

◆第1部 講演（1時間）

「サイバー攻撃の情勢及び対応策について
～サイバー攻撃から事業を守るために考えるべきこと～」

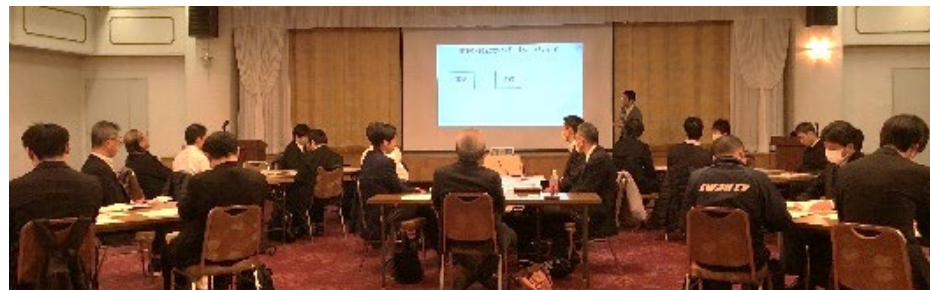
講師：株式会社川口設計 代表取締役 川口 洋 氏

インシデント事例を紹介しながら、サイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめ、組織の事業を継続するために必要な対策等について解説。

◆第2部 インシデント演習（2時間）

「セキュリティ事件・事故発生時の効果的な対応について ～フィッシングサイトの脅威～」

講演の内容を踏まえ、参加者によるグループワークを実施。机上演習として疑似的なインシデント発生対応の検討、評価までのサイクルを、参加者が互いにディスカッション・意思決定しながら体験。



<講演の様子>



<川口講師>



<インシデント演習の様子>



*参加者の声（アンケートより）

「組織全体で対策していくこと、経営層へのアプローチが大事だと感じた」
「インシデント対策には多視点、他視点が必要という話が印象的だった」
「演習を通じて異業種の方とのコミュニケーション、ディスカッションができてよかった」
「他社もセキュリティに関する悩みがあり、検討することがたくさんあることがわかった」
「自社と異なる規模の会社を想定した演習は驚きがあった」
「本演習の内容を、職員へのセキュリティ対策への動機付け、意識改革に生かしたい」

◆総務省四国総合通信局は、経済産業省四国経済産業局とともに、地域の関係者と連携して「**四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）**」を立ち上げ、地域のセキュリティ対策向上等に取り組んでいます。本演習もその一環として実施したものです。
<https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chiiki/shikoku-cybersecuritynet.html>



（お問い合わせ先）四国総合通信局 サイバーセキュリティ室（089-936-5044）

「サイバーセキュリティシンポジウム道後2024」を開催

- 総務省四国総合通信局は、サイバーセキュリティシンポジウム道後実行委員会（委員長：小林真也 愛媛大学大学院教授）と協働し、令和6年3月8日(金)・9日(土)の2日間、「サイバーセキュリティシンポジウム道後（通称：SEC道後）2024」を開催しました。
- 地域住民が安全に安心して暮らせるサイバー空間の確保と、地域でのセキュリティ対策の強化につなげるため、「**サイバー攻撃に負けない地域づくり ～新たな脅威に備えた連携と共助～**」をテーマに、産学官の多彩な登壇者による講演・パネルディスカッションのほか、参加者同士の交流の場であるナイトセッションや意見交換会を実施しました。

【目的・経緯等】

サイバー空間における情報セキュリティの重要性について広く普及・啓発を図るとともに、地域におけるサイバーセキュリティ人材の育成を目的に、平成24年から愛媛県松山市において開催しており、毎年全国からセキュリティの専門家や関心の高い方々が集まります。

13回目となる今回は、愛媛大学 城北キャンパスで開催し、**のべ約1,000名**(2日間：現地・オンライン)を超える方々にご参加いただきました。

【プログラム】

総務省サイバーセキュリティ統括官の**基調講演**をはじめ、サイバーセキュリティ分野の第一線で活躍されている専門家・企業の方々による**講演**や、インシデント被害を最小に抑えるための組織の対応等について考える**パネルディスカッション**のほか、参加者同士の連携と交流を深める**意見交換会**や**ナイトセッション**を実施しました。

ナイトセッションでは、昨今関心の高いテーマ（四国4県警のサイバーセキュリティに係る課題と対策／クラウドサービスのサイバー攻撃における関係者間の法的責任／医療機関のセキュリティ対策など）を取り上げ、熱心な議論が行われました。

また、シンポジウムの模様は、**四国内6箇所のサテライト会場**（鳴門教育大学、香川大学、香川高等専門学校、愛媛大学、新居浜工業高等専門学校、弓削商船高等専門学校）において学生・教職員を対象にオンライン配信し、のべ72名が視聴しました。

【主催】サイバーセキュリティシンポジウム道後 実行委員会

【共催】愛媛大学、愛媛県、松山市、総務省四国総合通信局、四国サイバーセキュリティネットワーク ほか

【後援・協力】経済団体、セキュリティ関連団体、テレコム関連団体、教育機関、研究機関等 約20企業・団体

【開催場所】愛媛県松山市（愛媛大学 城北キャンパスにおいて、ハイブリッド形式で開催）



＜講演会場の様子＞



＜パネルディスカッション＞



＜ナイトセッション総括＞



＜協賛社 展示ブースの様子＞



参加者の声（アンケートより）

- ・「サイバー攻撃に負けない地域づくり」というテーマらしく、人材に関する目からうろこの話が多くて勉強になった。
- ・毎回参加するたびに最新の情報を入手でき、新しい発見を得ることができる。有意義なプログラムの企画に感謝。
- ・権威ある方達の講演を聞き、交流することで、スキルの向上だけでなく、今後のモチベーションも上がった。
- ・ナイトセッションでは活発な議論、双方向のディスカッションが行われておりとても良かった。

【お問い合わせ先】四国総合通信局 サイバーセキュリティ室 089-936-5044

「サテライトSEC道後2024」を開催 ◀愛媛の会場から四国管内の3大学・3高専へオンライン配信▶

- 四国総合通信局は令和6年3月8日（金）及び9日（土）、愛媛県松山市で開催の「サイバーセキュリティシンポジウム道後（SEC道後）2024」のプログラムについて、四国管内の大学・高等専門学校に設置した**6箇所のサテライト会場**※にオンラインライブ配信するイベントを実施しました。
※鳴門教育大学、香川大学、香川高等専門学校（詫間キャンパス）、愛媛大学、新居浜工業高等専門学校、弓削商船高等専門学校、に会場を設置
- 四国管内の大学等から学生・教職員のべ72名の参加があり、サイバーセキュリティ分野の第一線で活躍する専門家による講演やパネルディスカッション等の聴講を通じ、最新の情報や地域におけるサイバーセキュリティ対策の重要性などについて学んでいただきました。

主なプログラム

○3月8日（金）

- ◆**基調講演「我が国のサイバーセキュリティ政策」**
総務省サイバーセキュリティ統括官室 サイバーセキュリティ統括官 **山内 智生**
- ◆**講演①「デジタル社会におけるサイバー空間の脅威への対応」**
警察庁 サイバー警察局 サイバー企画課 課長補佐 **佐々木 彩乃 氏**
- ◆**パネルディスカッション**
「あらためて考える インシデントに備えて我々は何をしないといけないのか？」
＜コーディネータ＞
国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
サイバーセキュリティネクサス 主任研究員 **佐藤 公信 氏**
＜パネリスト＞
一般社団法人ソフトウェア協会（研究員）／トレンドマイクロ株式会社 サイバーセキュリティ・イノベーション研究所 セキュリティ・ナレッジ&エデュケーション・センター セキュリティナレッジトレーニンググループ（シニアセキュリティリサチャー） **今 佑輔 氏**
一般社団法人日本シーサート協議会 **萩原 健太 氏**
香川大学 情報化推進統括拠点 情報メディアセンター 助教 **竹原 一駿 氏**

○3月9日（土）

- ◆**講演②「わかる！CYNEX ～つながる日本のサイバーセキュリティ～」**
国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
サイバーセキュリティ研究所 副研究所長 **井上 大介 氏**
- ◆**講演③「JR東日本におけるDXの取組みとサイバーセキュリティ」**
東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 **西村 佳久 氏**
イノベーション戦略本部統括
株式会社ラック 代表取締役社長 **西本 逸郎 氏**
- ◆**講演④「いま何が起きているのか公開事例から読み解く
～セキュリティ対策ありきではないセキュリティ対策を～」**
東京電機大学 サイバーセキュリティ研究所 **佳山 こうせつ 氏**

会場の様子



弓削商船高等専門学校



香川高等専門学校



新居浜工業高等専門学校



愛媛大学



鳴門教育大学



参加者の声（アンケートより）

- ・「国の施策の全体像」や「CYNEXの全体像」が見えて、大変参考になった。
- ・システムの構成図やデータフロー図の整備・管理がインシデントの防止や発生時の初動対応において重要であることをあらためて認識した。
- ・事業とセキュリティの両方が分かる人材を養成する必要があると感じた。
- ・事例を積極的に絡めた内容だったのでリアリティをもって聞けてよかった。今後も続けて欲しい。

（お問い合わせ先）四国総合通信局 サイバーセキュリティ室 089-936-5044